

園児溺死 遺族が調査委

自治体応じず独自で究明 愛媛

愛媛県西条市で20才学園(松山市)の対応も検証した上で、年内に報告書をまとめる。

12年7月、私立西条聖マリア幼稚園のお泊まり保育中に、川遊びで溺された吉川慎之介

ちゃん(当時5)、写真(遺族提供)が死亡した事故で、自治体が調査に応じなかったことから、遺族らが独自に原因を究明する調査委員会を発足させることが12日、遺族の関係者への取材で分かった。15日に初会合を開く。

遺族や事故当時の保護者らは既に「学校安全管理と再発防止を考える会」を設け、幼稚園の安全対策の不備を指摘。独自の調査委は、考える会が設置し、京都精華大の住友剛教授(教育学)ら3人の専門家を委員とする。

住友教授らは事故が起きた川の現地調査などを実施。詳しい原因のほか、幼稚園を運営する学校法人のロザリ

才学園(松山市)の対応も検証した上で、年内に報告書をまとめる。事故は12年7月20日午後3時40分ごろ、西条市中奥の加茂川で発生。約20〜30センチの水位が上昇、溺された慎之介ちゃんが死亡し、別の園児2人もけがをした。

遺族らは13年9月、私立学校を所管する県私学文書課に調査委の設立を求めたが、県は拒否。西条市も調査に乗り出さなかった。

西条署は13年8月、業務上過失致死傷の疑いで学園の前理事長ら9人を書類送検。松山地検は今年3月、同罪で引率していた幼稚園の前園長ら当時の教員3人を在宅起訴した。

事件・事故の情報は
社会部まで



電話 088-825-4047
ファクス 088-873-8119
写真などメールはこちらから
kochi-syakai@kochinews.co.jp